

2019年1月25日

国立民族学博物館 企画展

「旅する楽器—南アジア、弦の響き」

2019年2月21日（木）～5月7日（火）



国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園10-1）では、企画展「旅する楽器—南アジア、弦の響き」を2019年2月21日（木）から5月7日（火）まで開催する運びとなりました。

南アジアは弦楽器の宝庫です。世界中で知られるシタールだけでなく、多種多様な弦楽器がさまざまな人びとによって、千差万別のスタイルで演奏されてきました。宮廷の華として王侯貴族たちを陶醉させた弦の響きは、古典音楽として受け継がれています。儀礼に使われた弦楽器は、神を讃える歌や祈りの支えとなり、物語の世界を眼前に蘇らせ、歌手の紡ぎ出す旋律を引き立ててきました。これらの楽器の多くは、西アジアや中央アジアから伝えられ、南アジアで演奏家や職人たちによって改造され、生まれ変わったものです。南アジアで定着した楽器が、さらに形や音を変えながら、東南アジアや東アジアに伝えられた場合もあります。

本展示では、このような弦楽器の遙かな旅を、南アジアを中心に紹介します。

展覧会の見どころ

- 南アジアの弦楽器の多様な弦の響きの中に歴史を聞く。
- 1877年にインドから日本の皇室に寄贈された弦楽器2点を展示。
- 研究公演とギャラリー公演で、展示資料のうち、南アジアの弦楽器4種の演奏を披露。

○資料点数 約100点 (予定)

○展示構成

1. はじく

シタール系

タンブーラー系

サロード系

ヴィーナー系

2. こする

3. うつ

タゴール家とインド音楽

開催概要

展 示 名	企画展「旅する楽器—南アジア、弦の響き」
会 期	2019年2月21日(木)～5月7日(火)
会 場	国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1) 本館企画展示場
開 館 時 間	10:00～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日	水曜日(5月1日(水・祝)は開館)
無料観覧日	2月24日(日)、3月10日(日)(本館展示・企画展の無料観覧日)
観 覧 料	一般420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、中学生以下無料 ※()は20名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用 ※本館展示もご覧いただけます
主 催	国立民族学博物館
協 力	サンディップ・タゴール氏 東京国立博物館 トルコ共和国 ユヌス・エムレ インステイトウト東京 千里文化財団
協 賛	エア・インディア
後 援	在大阪・神戸インド総領事館

関連イベント

研究公演「薫り立つインド宮廷の華—弦楽器サロードの至芸」[コンサート]

- 概要** サロードは、インドの宮廷音楽にルーツをもつ北インド古典音楽で演奏される弦楽器です。名手イルファーン・ムハンマド・ハーンが古式の古典音楽の世界に誘います。
- 会場** ホテル阪急エキスポパーク
多目的ホール(オービットホール)
- 日時** 3月2日(土) 13:30~16:00(開場13:00)
- 解説** 田森 雅一(国立民族学博物館 特別客員教員)
- 出演** イルファーン・ムハンマド・ハーン [サロード]
スバジット・ブラーマチャーリ [タブラー]
- 定員** 400名
- 参加方法** 参加無料、要事前申込/申込締切2月8日(金)必着
- 備考** 本館講堂が改修中のため、館外での開催となります。



イルファーン・ムハンマド・ハーン



解説
田森 雅一
(国立民族学博物館 特別客員教員)



スバジット・ブラーマチャーリ

ギャラリー公演 [ミニコンサート]

3月 9日(土) 的場 裕子 [ヴィーナー]

3月17日(日) 伊藤 香里、勝田 信明 [サーランギー、マーダル]

3月30日(土) 小日向 英俊、藤澤 ばやん [シタール、タブラー]

概要 企画展示場にて、コンサートをおこないます。南アジアの弦楽器の演奏をお楽しみください。

会場 国立民族学博物館 本館2階 企画展示場出口

時間 各日2回公演 ①13:30～14:15 ②15:15～16:00

参加方法 参加無料 要展示観覧券／申込不要(先着順)

備考 ギャラリー公演は企画展示場内で実施します。混雑が予想されますので、係員の誘導に従ってください。なお、ギャラリー公演開催中は、展示場内の映像を停止します。



的場 裕子



伊藤 香里、勝田 信明



藤澤 ばやん



小日向 英俊

友の会講演会

「イラン音楽の楽しみ—伝統打弦楽器サントゥールを例に」

概要 サントゥールの実演を交えながら、イラン音楽の魅力を紹介いたします。

会場 国立民族学博物館 本館2階 第5セミナー室

日時 4月6日(土) 13:30～14:40

講師 谷 正人(神戸大学大学院 准教授)

参加方法 友の会会員:無料(会員証提示) 一般:500円
申込不要、当日先着96名

備考 講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます。時間内に展示の見学も予定しています(40分。懇談会のご参加には会員証、もしくは展示観覧券が必要)。



講師 谷 正人
(神戸大学大学院 准教授)

みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「南アジアの弦楽器」

会場 国立民族学博物館 本館2階 ナビひろば、企画展示場

日時 4月7日(日) 14:30～15:00

講師 寺田 吉孝(国立民族学博物館 教授)

参加方法 申込不要、要展示観覧券

企画展実行委員



小日向 英俊（東京音楽大学 客員教授）

1987年インド国立バナーラス・ヒンドゥー大学大学院修了(M. Phil. Musicology)。1982年よりクリシュナー・チャクラヴァルティ女史にシタールを師事。シタール演奏や執筆などを行う。『「世界音楽」—日本における受容とその意味』(2014年)など論文多数。インド音楽演奏グループ、バナーラス・ミュージック・サークル主催。



谷 正人（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授）

1971年大阪生まれ。イラン国立芸術大学に留学。1998年イラン学生音楽コンクールサントウル独奏部門激励賞受賞。大阪大学大学院で博士号取得。著書『イラン音楽—声の文化と即興』(2007年、第25回田邊尚雄賞)など。



田森 雅一（国立民族学博物館 学術資源研究開発センター 特別客員教員）

専門は文化人類学・民族音楽学。1980年代後半から1990年代後半にかけて、セーニー・シャージャハーン・プル・ガラナーのキャリアン・ムケルジー教授(1943~2010)からサロードを学ぶ。音楽関連の著書に『インド音楽との対話』(1990年)、『幻の楽器を求めて』(1995年)、『近代インドにおける古典音楽の社会的世界とその変容』(2015年)などがある。



寺田 吉孝（国立民族学博物館 学術資源研究開発センター 教授） 実行委員長

ワシントン大学音楽部博士課程修了。1980年代より、アジアの伝統音楽と欧米のアジア系移民社会の音楽実践の研究に従事している。著書に『音楽からインド社会を知る—弟子と研究者のはざま』(2016年)、編著書に*Music and Society in South Asia: Perspectives from Japan*(2008年)、映像作品に『南インド ヒンドゥーの結婚式』(2008年)、『ネパールの伝統音楽 パンチャイ・バージャ』(2016年)などがある。



福岡 正太（国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 准教授）

専門は、民族音楽学。インドネシア、西ジャワの伝統芸能について現地調査に基づく研究を行ってきた。芸能の伝承において映像記録が果たす役割にも関心をもっている。共著に『インドネシア芸能への招待～音楽・舞踊・演劇の世界』(2010年)、『東南アジアのポピュラーカルチャー—アイデンティティ・国家・グローバル化』(2018年)などがある。



ジェニファー・ポスト（アリゾナ大学 上級講師）

アリゾナ大学上級講師。南アジアと中央アジアの音楽文化を研究する民族音楽学者。近年は、モンゴル国に在住するカザフ人の音楽を事例として、社会・経済・環境の変化が音楽に与える影響について調査している。ディアスポラと音楽、資料の返還、伝統的な環境知識、文化のおよび生物的持続可能性、楽器の製作などをテーマとした論考多数。



米山 知子（京都外国語大学 非常勤講師）

総合研究大学院大学博士課程修了。文学博士。京都外国語大学・立命館大学非常勤講師。マイノリティーにとっての音楽と舞踊について研究している。

企画展「旅する楽器—南アジア、弦の響き」 広報用画像リスト



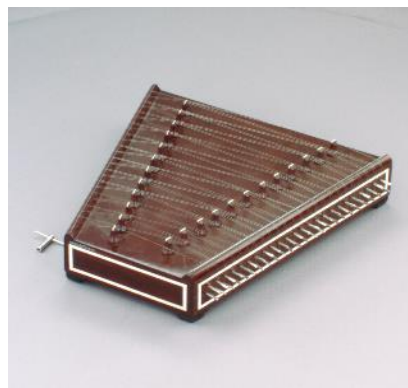
【1】企画展ポスター



【2】ターウス (パキスタン)



【3】ヴィチトラ・ヴィーナ (パキスタン)



【4】サントゥール (パキスタン)



【5】19世紀製作のシタール (インド)



【6】ディルルバー (インド)



【7】タンブル (アフガニスタン)



【8】タンブラー (インド)

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込用紙の内容をお知らせください。

企画展「旅する楽器—南アジア、弦の響き」
広報用画像利用申込用紙

〔メールでお申し込みの場合〕 koho@minpaku.ac.jp

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

 3組6枚 5組10枚

※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

【広報に関するお願い】

- 写真使用に関するお願い、注意事項
 - ・クレジットには次のとおり記載してください。
【2】～【8】 国立民族学博物館蔵
 - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
 - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。